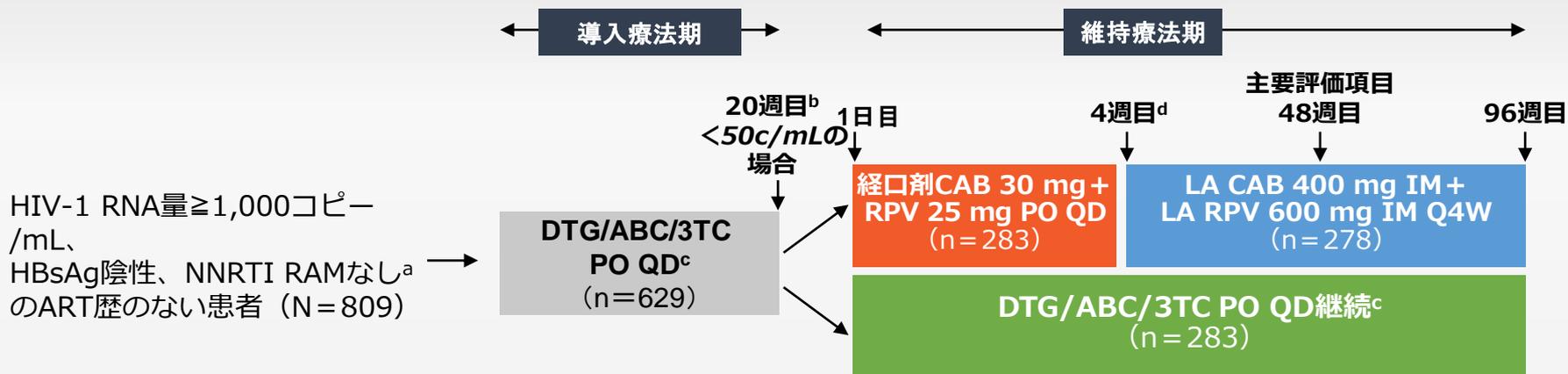


# FLAIR試験：DTG/ABC/3TC導入療法後の 長時間作用型CAB + RPV維持療法

多施設共同非盲検無作為化第III相非劣性試験



- **主要評価項目：** 48週目のFDAスナップショットによるHIV-1 RNA量  $\geq 50$  コピー/mLの患者の割合 (非劣性マージン6%)
- **副次評価項目：** 48週目のFDAスナップショットによるHIV-1 RNA量  $< 50$  コピー/mLの患者の割合、ウイルス学的失敗時の耐性、安全性および忍容性、患者報告アウトカム

<sup>a</sup> K103N変異を有する患者は組み入れ可能

<sup>b</sup> 16週目から20週目まで HIV-1 RNA量  $< 50$  コピー/mLの患者は維持療法期へ移行した。

<sup>c</sup> ABC不耐容またはHLA-B\*5701陽性の場合、代わりにABC以外のNRTIを使用可能とした。

<sup>d</sup> 負荷用量：LA CAB 600 mg IM + LA RPV 900 mg IM、通常用量の投与は8週目から開始した。